

武教全書館圖書
部門 七乙一
番號 六
冊數 二八

武教全書口訣

火戰
夜戰

廿五

武教全書口訣

火戰

火カヲカリ用テ戦ラナク事ハ

故火ヲ用ル徳文事

火ノ威凡テ殺シ敵ノ氣ヲ奪フニ用ル事

火ヲ殺シ其勢ヲ奪ル事ハイカク

万ノ威勢ヲ奪フ事ハ又國地ヲ燒

シ工平勇氣ヲ奪フ事ハ

敵國ノ人氏ヲ必死ニシテ居ニ苦シメ



武教全書口訣

火戰

火カヲカリ用テ戰ヲナス事ニ

故火ヲ用ル徳之事

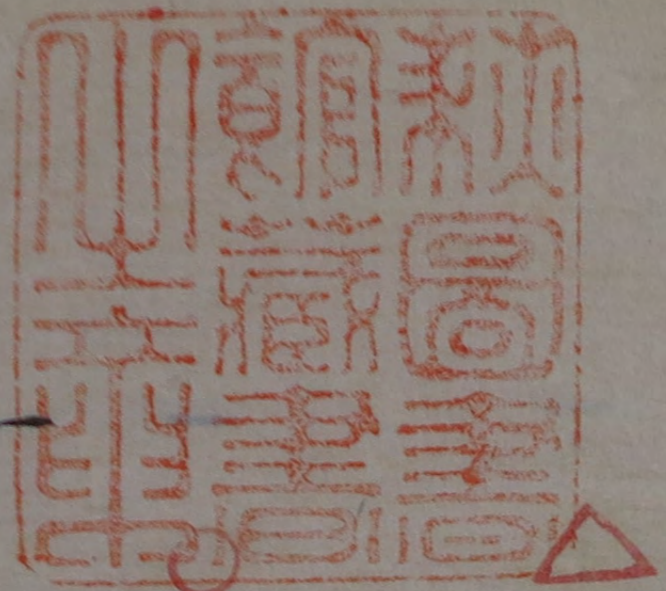
我ノ威凡ヲ發シ敵ノ氣ヲ奪フニ用ル事

火ヲ發シ其勢ニ氣ルナクヨク味

万人威勢ツヨクナリ敵ハ又國地ヲ燒

ハ其平勇氣ヲシケ勢ヲ失フニ

一 敵國ノ人民ヲ恫亂セシメ居ニ苦シメン



一 力爲ニ用ル事

敵國ノ民屋ニ至リ放火トシ燒立ルト

人民大ニ恟ミ居地ヲ失ヒクルシ

國中モ大ニ騷動メ我カ計策ノ使トナ

一 爰ニ軍アリト云事ヲ与所ノ味方ニシテ

シノニ力爲ニ用ル事

一 敵ニ敵ニ出合テ戦ヲナストニ具

一 處ヲ放火シ他方ノ味方ニ戦アル事ヲ

一 知シタルニ宜ク我軍ノ軍取ニ其地ノ

一 伏兵ノ疑ヒアル處四方窺ヒニシテ此

一 場ヲ廣ク見ニ為ニ是ヲ用ル事ニ用ル

一 此處ニハ敵ノ伏兵アリトシテ其カ疑

一 心ニキ此又ハ樹木或ハ民屋ノ類多ク

一 下リテ其處審カニ見透サレ所ル此ノ

一 類ヲ放火シ燒掃スルハ其場濶ク障

一 リトシ見キラルハ其カ疑心ヲ去ル

一 敵味方ヲ約束スル取用之

一 敵味方ヲ約束スル取用之

一 敵味方ヲ約束スル取用之

一 敵味方ヲ約束スル取用之

一 敵味方ヲ約束スル取用之

一 敵ノ中ニ此方へ内通ノ者下ル寸物東
ヲ下シテ火ノ午ヲ以復ヲ通ルニ譬へ
城ノ中ニ火ノ午可揚間ソ人取介ツレ
ノ虎口ヨリ急ニ攻入玉ハ内ヨリモ
木戸ヲ泥キ出ハシトト物スル類或
ハ味方ヨリ放火ヲ下スへキ間其取裏
切ヲ下玉へ寸寸物東ヲ下シ用ル
一 敵守テ勤力ナル其左右或ハ宮城ヲ放
火シテ敵ヲ引出スニ用ル事

一 敵堅ク守テ不出戦ヲ不好取ニ其敵ノ
燒左右ヲ放火ニ或ハ其敵ノ宿城ヲ放火
○自スル事ハ敵出ルモノ
一 方ヲ放火シテ敵ヲ集メ其虚ヲ討ニ用
ル事
一 敵ノ方ヲ放火ニ攻ル勢ヒヲスル寸
ハ敵是ヲ防ニ其方へ人致必集ル其
ウシ口ハ虚ニ下ルモノ我却テソノ
一 虚ヲ討テ利ヲ得ルニ

一 一方ヲ燒キリ敵ノ來ルヲ防リニ甲ル事

一 敵ニ午ト成テ二道ヨリ攻来ルナ一方

ヲハ放火ヲナシ其道ヲ燒キリ通路ヲ

塞キテ一方ノ敵ニ應ニ戦フニ敵ノ人

數ハ二午ニ成テ一方ハ空ク進之得ス

一 我ハ一午ニ成テ戦フニ其數ハ

○自燒ヲ改ス徳之事

一 我國中ヲ敵ニ先達テ此方ニ自燒

一 今之是ヲナスニ徳不リ

一 敵ヲ乘リテ放火ナヘキ處ヲ先達テ自

燒改スニ徳多キ事

一 敵乘テ必放火ヲナスニ思フ也

一 此方ヨリ燒拂フニ家財難具ヲ取ノ

一 人ヲ赤家ニシテ燒モノニ故ニ怪我人ナ

一 民人ナクミクニ且敵ヨリ燒ケル彼

一 勢口大ニツクニ自燒スル勢意味

一 方ナリ

一 敵ハ陣具ニ更テ關也居ニ苦シノニ島ニ

一 用此事... 敵来リテハ民家ヲ破リテ陣具ニ甲ル
王ノ人自燒スレハ敵陣具ニ度ヲ疑テ
居処ニ苦シムモノニ畢竟陣具ヲ燒捨
ルニ
一 味方後詰ニ出テ早リ敵中へ力ヲ合セニ
ト思フ寸ハ敵ノ後ヲ自燒致ス事
一 敵ノ下ハ城目ヲ攻ルニ本城ヲ焼
一 燒後詰ニ出テ敵陣ノ後ヲ火ヲ點テ

一 城ノ中ニハ後詰来ルヲ知テ大ニ勢
ソキ堅固ニ能守ル敵ニハ臆氣生スル
一 十リ
○ 燒衝武印ノ事
一 火持ノ役人アリ自余ノ衝子リテハ不
又此ノ事
一 放火ヲナスニハ火持ノ役人ヲ定置
此者ハ專ラ火ヲカケル度ヲ印下ノ如
一 敵何程ハ宜キ度アリテモ放火ヲナス日

外別立衝ヲスルヲハ不登トスルニ
斯定メカレハ大ヲ付ヘキ期ヲソル
夏下リ

一 足怪客入今吹客ノ前方ニ整へ軍ノ事

一 足怪客ヲ放火トスル宿ノ前ニ振軍

一 足怪客ヲ全ノ足怪ヲ客入ヲサスヘシ

此振軍トキ十八款ヨリ足怪ヲ考立ル

夏下リ外所燒衝成推上ニ

一 足怪正阴阳ニ別立衝勢押候勢其跡

勢ヲ置ヘキ事

石足怪ヲ正ニツニ口ケ阴阳ヲ組テ一

好備ハ燒衝ヲ正ニ款不意ニ出ル夏下リ

少ハ二條ニテ是ヲ押ハ當又跡ニ形勢ヲ

井置テ堅固トスルキ心

一 凡ノ煩逆ヲ若テ火ヲ放置ヘキ事

款ノ方ハ吹風ヲ具テ火ヲ口ソ入レ是

夏下リ

一 敵ヲ死地ニ落ル入レカテ此事

故ヲ死地ニ落シ入ル寸ハ波十死一生
人戦ヲ十ス故味方多ク討ルモノ
ナレハ死地ニ入ヘカラスト云死地ニ
入ルハ兵添ノ語ノ道理ニ
兵添曰凡從東其火心西為上凡東為下凡
也人之避火心於下凡以竟俱焚之災吾苟
攻下凡則彼之避死求生之人將致死戰故
孫子曰無攻下凡
東凡方卒從心吹下ハ火ヲハ必其西

放火方ハ放千ツケルニ西ヨリ東へ順凡
下凡故其西方方凡上下東方
凡下ニ敵入凡上ヨリ火ヲ下ニ
其火ヲ避ルカレハ必下人火ノ十
キ方ハ退キテ俱ニ焚死又此災ヲ
又カレハ然ルニ我ハ人教敵ハ凡下
人方ヨリ攻ル寸ハ凡上ヨリ火来ル
可下ハ外へ遁ルニ死地ニナル
下ハ死ヲ人カレ生ヲ求ル者查悟ヲ

待テ攻入ルヲ不其火力ヲ極メハ一ハ
イニ燃カセテ敵ノ赴ヲ見ルヘシ可從
ノ從之ハ其變ニ從テ攻ル下ニテ火ニ
敵ヲワキ攻入テヨキ調子ナラハ攻ヨ
トシ

○自燒作法之事

一 凡チ考テ火ヲ放シ事
此處ニヤキ此處ニ殘ス下ニ處アルモ
精入心此殘ニ置込吹込ケ又凡チ考入

一 火ニ去ルテ凡並直シ力ヲナルハ
其ス莫多ク故ニ能ク凡チ考テ火ヲ放

○五ツハ

一 城外ノ戸立具諸道具迄城内へ取入へキ
事ナリ入ル莫不叶收ハ燒失仁へキ事

一 此守城ニ云ル如シ
以テ終置寸ハ敵ノ為ニ便利ノ故ニ如

一 城道ヲ折ハコホキテ一處ニテ燒事
俄ニ風變リタル寸ハ城へ移ル莫アル

一 作 汰ハ 燒 働 同 意 ナルヘシ

自 燒 ヲ スルニ 作 汰ハ 前ノ 燒 働 上 全 意

軍ニ 入レシ 火 持ノ 役人ヲ 定 押入ノ 勢 抵

軍ヲ 用ルニ 是 不 意ヲ 守ル 爲メ 人ノ

○ 五 火 之 事

一 兵 法ニ 出シ 此 火 攻ノ 法ニ 五ツ 品 有

リ 其 五ツ 月 出 也リ 或 曰ク 火 燒 夕 暮 火

一 火 人ハ 敵 國ノ 民 屋ヲ 燒 或ハ 敵ノ 士 卒

○ 火 燒 殺 不 復 火 積ハ 積 聚トツ、キテ

兵 糧ヲ ツク 貯入タル 是ヲ 燒シ 火

輜 輜ハ 輜 重ノ 車ニ 異 國ニテハ 衣 類

兵 具ヲ 車ニテ 運リ 此 方ノ 小 荷 駄ノ 類

其 是ニ 火ヲ カケ 燒シ 火 庫ハ クラシ 財

一 室 器 物ヲ 入 置タルク 火ヲ 付マシ

之 火 隊ハ 備 立ノ 復ニテ 敵ノ 備 助 亂ス

一 火 人ハ 敵 國ノ 民 屋ヲ 燒 或ハ 敵ノ 士 卒

○ 火 燒 殺 不 復 火 積ハ 積 聚トツ、キテ

兵 糧ヲ ツク 貯入タル 是ヲ 燒シ 火

輜 輜ハ 輜 重ノ 車ニ 異 國ニテハ 衣 類

兵 具ヲ 車ニテ 運リ 此 方ノ 小 荷 駄ノ 類

其 是ニ 火ヲ カケ 燒シ 火 庫ハ クラシ 財

一 敵切處ヲ誠ニ長陣ヲ張ラハ諸軍氣勞レ
夕ル處ヲ可考事

敵切處ヲ工ニテ陣ヲトルハ十死一生

ノ合戦ヲ心懸ル敵ニ容易ニハ討難キ

王ノ十一ハ長陣ニ及ビテ諸軍勢ノ氣

衰ハ勞レタル故分ヲ考テ夜歩夜軍ヲ

精スハ其ノ合戦ニ及ビテ其ノ

一 大風是雨也取分ハ事

風雨ハ烈ニキ夜ハ夜歩九上王来ルニ

シキト申断シテ守リ怠ル者ハ故ニ其

不意ヲ討ハシテ其ノ中ニ其ノ事

一 味方偽テ和ヲナシタル夜ハ事

午段ニ偽テ和ヲナスニ敵ハ實ト心

得テ安堵ヲナシ申断スルモノナシハ

ソノ夜不意ヲ討ハシテ其ノ事

一 引上ルト見セテ夜軍ノ事

敵スル事叶ハサル如ク見セ引取テ見

スル寸ハ敵教員ハ守リニ勞レ大ニ怠

ルモノ人其取引カヘシテ夜軍ニ入
シ

○夜軍ノ物見之事

一 先地利ヲ季ク見ル事 付引トリテ集ルヘ

キ場処シマリノ備ノ場相分ノ場廻シ備

ノ場ノ事

夜軍ヲナスニハ別テ其地利ヲツマヒ

テカニ知度第一ノ中ニモ平文ニ云ヒ

ニハ必見ツエル度取要ノ引取テ集ル

一 場シマリ備相圖及場之ヲ先ニ出セリ

廻シ備ノ場ハ彼我ニカナル味方夜

討ヲナスニ又別午ヲ用テ敵ノ後口ニ

廻シテサシハナク討度アリ或ハ敵口

リマハシ備ヲ用テ夜討ノ跡ヲナリ切

ル度モアル

一 敵ノ厚薄陣取ノ善悪ヲ知ル事

厚キハ大勢薄キハ小勢ノ陣ノ陣取ノ

善悪ハ敵陣ノ固ニ造垣繩柵トトニ

内ノハ屋割曲折ナリヨク警込篇ノ理
ニ叶ヒタル是善ク人致ヲ急ニ外へ出
スニ自由ヨク滞ル莫キニ搦圍ニ夫
夫ニシ柵ナトツケ小屋割ニ由折ノ往
来ソカへ不自由ナル是惡ニキ陣取ク
カコヒ堅固ナレハ急リ生ニ扱取ノ陣
へ夜討入タル寸此陣ヨリ急ニ救フナ
成堆ニ此処ヲヨク見積ルヘシ
敵奢ルカ臆セルカ見立ル事

○夜軍ニ可出前方申聞ス入キ事
驕ルハ味方ヲ侮リテ物ノ數トモセス
夜中篝モ焚ス夜廻リホヲモセサルヲ
之臆セルハ味方ヲ恐レテ守リヲキヒ
シクシ篝ヲモ入用ナキ処へモ焚ナト
スル類ニ驕ル敵ハ其不意虚ヲ討ル
者ニ臆セル敵ハヲヒヤカシテ討ニ利
アリ故ニ驕ルカ臆セルカヲ能見積ル
ハシ

一 首取ヘカラス計捨ニ仕ヘキ事

夜中ハ人柄ヲ小人數出スモノニ然ル

ニ首ヲトリテハ手間ヲトリ其上午塞

リテ外ノ働ナリ難キ者ニ故ニ首ヲハ

トルヘカラス何レモ計捨ニスヘシト

堅ク申付ルニ

一 磔敵トキリ緒ニ夕リトモ引上ヨト相圖

アヲハ具敵ヲ討スニテ早々引取ヘキ事

一 登トテモ相圖ニ遣フオハ不宜マシテ

夜中ハ少ニテモ相圖ニヲクレ相違ア

ルオハ宜シカラス故ニ堅ク申付ルニ

一 初後ノ相詞ノ事ハ初東相圖ヲ堅クスル

事

初ノ相詞ハ其夜ノ相辭ニ後ノ相詞ハ

夜軍ニ已ニ出ルトキニ初ノ辭ヲ改メ

換ルニ是初ノ相辭ヲ自然聞知テ引取

テニ味方ニ紛レテ恐レ込度アル故ニ

相ツ紛更ハ夜軍ハトリ分少シニテモ

相違ニ不堅固ナルハ全カヲ不勝利
ヲ得ル莫維シ故ニ改テ斯ニ何レモ
相イナキ如ク申聞スヘキニ
一 引取トキ何道具ニテモ敵地ニ有合物ト
リ来ルヘキ事
一 是深働ヲナシタル證拠ニナルニ改ニ
敵地ノ陣具ノ類ソノ外何ニヨラズ採
来ルヘシ是敵ノ首ヲトリタルト全シ
意ニ

一 引取ヘキ道筋相圖約束ノ事
一 夜中ハ別方角ヲ失ワ物トハ能ク
身中合入キニ次ノ一丁一丈ノ条ニ
一 上着胴肩衣ハ白カルヘキ事
一 常ノ上下ノ肩衣ノ如クシテ鎧ノ上ニ着ル
ニ味方ノ相印トスルニ鎧ノ上ニ着ル
故是ヲ上着胴肩衣ト云布類或ハ紙ト

二三テ造ルハニ夜中ノ印ナレハ白ク

スルテ宜是款味方ヲ分ク意ニ

一 羞物ヲナクス袖印笠印アルハキ事

一 夜中羞物ハ障テ不直故ニ用ニス神驗

一 笠驗ノ類ヲ可用ニ様ニメ味方ノ印ニ

スルニ夜ナレハ何レモ白ク可ク

一 長道具遠慮ノ事

一 鎗長刀ノ類長器ノ勝負ニ夜中ハ致シ

一 難キニ直器故ニ遠慮ニテナカリ短器

ヲ甲士ヘシ

一 胴ノ火付竹ホクテ甲意ノ事

一 陣屋ナレニ火ヲ掛ルニ入用アル故ニ

一 山谷ノ中ヲ往来致スニハ身ヲ草ニテ包

ル事付小細引鍵銃ノ事

一 身ヲ竹ニテ包ムハ金物ノ音セ又為シ

或ハ自然轉ヒタルニ怪我ヲセ又為

一 小細引ノ外ハ待月武功篇ニ出シ

ル力加シ險阻ヲ越ス為ニ數多持シ

○夜軍ニ可出前方武略ノ事

一 味方出入ノ事

今夜中ニ可出ト士卒へフレ其事敵方
へ通スル如クスルニ敵聞之ソノ備ヲ
ナス取ニ我出テス此ノ如數日スル寸
ハ例ノ虚説ト心得テ其甲心ヲナカス
申断ヲ生スル者ニソノ才出テ夜討ヲ
ナスニ

一 環目ニ能士大将ヲ竈メ置敵ノ来テ責ル

取カリレ遊兵武略ノ事

敵来テ我環目ヲ城内外ノ後詰

ノ人数ヲ卒ニテ道近討テ出所敵人数

ヲ分テ其備ヲ設ル寸ハ道ヨリ引カ

ス敵其備ニ怠ル寸又右ノ通道近討テ

出如此數度スレハ敵例ノ通ト心得備

ヲ終ニ其備ヲナカス由断ヲ生ニ怠ル

ソノ取ヲ窺ヒ直ニ夜軍ヲ用テ駭破ル

ハ是ヲ隱所遊兵ノ武略ト云コトナ

塚目ノ城ニ能武切人將ヲ置カレハ此
謀ヲ十ス内持コ夕ニル良十ヲカレ
故ニヨキ士大将ヲ篁ノ置ト云ニ

一 夜軍ノ習ニ顯密ノ事

夜軍人習ニ敵ノ賢愚強弱ニ顯密ノ事
密ニスルハ敵ノ愚弱トシテ夜討行出ル
ト云トテ顯ニ不敵是情聞テ周章恐ル
臆ルニ其此日討ル利アリ又良將器強
敵トシテ隨分密ニ不取ニ是ヲ聞テ具

一 關倫ヲ設ル故討テ有利ト云ニ

○夜軍武切之事

一 厚キヲ討テ薄キニ出ル事

夜軍ヲスルニハ大勢篁リ夕ニ厚キ陣
屋ヨリ討テ其勢ニテ以薄ク少勢ノ篁
リクニ陣ヲ擊ニテ入ニ厚キヲ討ハ薄
キ方ハ臆気生ノ少安キ者ニウスキヲ

一 先ニスルヲ厚キ方ニ夜討入タル良

一 知テ其倫ヲ十ス我勢ハ劣ルヲ

十一ハ少難キニ
一 整へ軍ニ力へノ將有挑灯續松ノ事
一 働勢ノ外ニ整へ軍ヲ出スニ夜討ノ人
數ニ合戦堅固ニサス入キ爲ニ整ノ將
トハ其軍ノ大将ニハ武功ノ將ヲ付入
ニ挑灯續松ハ夜討ノ勢陣下ニ着夕ハ
一 早夜把軍ニ灯火ヲ揚テ懸ル勢ヲ下ニ敵
陣ヲ付ハ力ニ合ハシ敵駭キ夕ハ此ヲ
夜討者人数足下ヨリ起リテ敵ヲ折ル

一 関ノ聲合也ヤウノ事
一 二様アリ一ニハ敵陣ノ陥入誥寄也々
ル下キニ把軍ヨリ関ヲアケル敵是ニ
駭キ駭ク此ヲ働勢足下ヨリ関ヲ合也
テ討立ルニツニハ働勢引取ル寸ニ
関ヲ作是ヲ聞テ迎備ヨリ関ヲ合スル
ニ働勢引取ニ其聲ヲ聞テソノ方へ引
返スニ
一 鉄炮ノ折也ヤウ全續松ノ出シ様ノ事

敵ノ気ヲ棄テ島ニ担軍ヨリ五十平ノ
鉄炮ヲ抄シムヘニ跡ヨリ抄テハ先ノ
働キ成堆キモノニ正込スニ抄ト云更
ヲ夜討ノ人数ヘハ中聞スル丁ニ是所
夢ク續奏ノ出シマウハ働勢ニ火ヲ揚
ル寸ハ午本明クテ敵中見ヘス敵ヨリ
ハ味方能見透サレ故ニ働勢ニ
ハ火ヲ揚ス跡ノ担軍ニハ續松ヲ出ス
關ハ毛ヲノ先リニテ敵陣ヨリ見ユル者

一 物 束ノ火ノ事 一 丁一火ノ事
下リ 待テ 所 知 並 備 兵 船 天 出 見 島 下 並

夜中諸事相圖ヲナスニハ金鼓十トヨ
リハ火ヲ以通ル更互キモノ十トハ物
ヲ定火ヲ可用ク一丁一火ハ引取道筋
ニ凡一町ニ一ツ宛火ヲ灯シ別レ道十
トニハ其処々ハ火ヲ繁ク灯スハニ然
ル寸ハ引取人数ヨリヲシルハニニテ

一 引取人数

一 恐は馬ノ事

三傳アリ一ニハ敵陣へ恐はハテツナ

キ馬ヲ切放シ陣中ヲ騒スルニ又一ツ

ニハ味方ノ馬ヲ敵陣へ放テカケテ騒

カスニ天一ツニハ氣行馬ノ舌ヲ巻テ

嘶カカル知ソスルニ是ヲミテ恐は馬

ノ事

一 近侍ノ事

衝キ勢ノ引取道筋へ侍ヲ出シ是ヲ迎

侍殿侍ト云ハ是ハ夜討ハ人数敵中へ

入下ケマ此侍ヲ出スハ夜中カレハ衝

勢引口ニ送テ故キ人侍ヨリ相ツヲ十

ニテ是ヲ導クニ可テ引取トキ或ハ敵

付入ヲナシ侍リ計ヲスルハ或ハ夜討

ノ人数ヲ喰面ニ度ヒアルニソノ取此

侍ヲ以討ニ扱テ敵引取人数ニ給ヒテ

表此丁アル者ニテ改テ引

取ト云ハ

一 勝テ後シムル處ヲ定ル事

引取ラキ一處ニ集ルハキ此ヲ定置ハ

シ是ヲシムル處ト云諸勢ナリテ敵ヲ

ヲソヒ討引取レトイウ相圖ヲ聞ト此

處ハ集リテ一全ニ引トルニ敵付入ヲ

ナシ味方ニ紛レテ入込變成可ル者ニ

一 火ヲ付ル處心得ル事全取合ル事

付ハキ此ハ敵陣ノ後ハ付テ此分

ナカニニ戦ヲナストキ敵ノ跡ニ火ヲ

カクルト敵死地ニ落ル故也死ノ戦ヲ

ナシテ味方討死多クアルニ在ルハ

此取ハ付ス引取ラキ火ヲ敵ノ後口ハ

カケテ引ラルハ是取分ニナスルハ

敵火ニトニ着レテ付入ヲスル復叶ハ

カナルニ

一 歩又ケモトリ歩廻シ備ル事

歩又ケハ前人厚キヲ討テウスキニ出

ル此心得ニ討ニモトリ歩ハ石ノ如ク敵

陣騷キ立テ又チテ利アルハキ圖アレ
ハ引返シ討ヲ云マハシ儼ハ是ヲ用ラ
ルヘキ地歎テラハ一年ノ勢ヲ歎ノ後
ハ廻シ前後ヨリサシハサミテ討更ニ
一 敵味方ノ人数ニ紛レ来ルヲ搦ニ出ス事
引取トキ歎夜抄ノ人数ニ紛レ来リテ
及リ討ヲテス更アル者ニ故ニ是ヲ撰
ニ改ルニシカルニ或ハ迎儼ノ端ニテ
立スソリ居スソリト云下ヲスルニ相

另ヲ物ニ置テ是ヲテスタトハ八大報
ヲ幾ツキテラハ折歎ヘシ立ヘシ十ト
物ニ置ヲ立スソリ居スソリト云ニ如
此ニテ法ニ不合者ヲ挿ヘテ改ルニ

○夜軍詞之事

総軍カ、リテ相戦ヲ夜軍ト云ニ一年ニ
午ニテ働クヲ夜討ト云ニ儼先ノ足喧ノ
居ニ又ハ仕寄場トトハ夜出テ働クヲ夜
込ト云ニ夜カケ夜働等ウツ、心得カハ

ル
入
キ
事
...

夜
カ
ケ
夜
御
ハ
足
煙
ヲ
用
ル
之
步
數
篇
二

見
入
夕
リ

...

